

令和7年度

長崎大学大学院総合生産科学研究科

博士課程（5年一貫制）

総合生産科学専攻

グリーンシステム科学コース

学生募集要項

一般入試

令和6年5月

長崎大学大学院総合生産科学研究科

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

TEL (095) 819-2491 (直通)

FAX (095) 819-2716





1. 募集人員

		3

2. 出願資格

- 8
- (1) 7 3
- (2) 22 26 104 7
- 7 3
- (3) 16 7 3
- (4)
- 16 7 3
- (5) 16
- 7 3
- (6)
- 3
- 7 3
- (7) 7 3 4
- 7 3
- (8) 28 5
- (9) 102 2 3.
- (10) 7 3 31 22 3.
- (11)
- 3



















総合生産科学研究科博士課程（5年一貫制）  
科目担当教員一覧

担当教員	研究内容
大嶺 聖	地盤の高度利用技術と地盤環境工学に関する研究
木村 正成	高効率有機合成反応の開発と機能性物質の革新的合成
近藤 智恵子	環境負荷の小さい高性能ヒートポンプおよび冷却デバイスの開発
才本 明秀	固体における破壊現象の予測と工学的応用
作田 絵里	光機能性化合物の創出と応用
中谷 久之	高分子の劣化・生分解化
中野 正基	電子機器用磁性材料の開発
兵頭 健生	機能性セラミックス材料の設計と応用
森口 勇	ナノ構造制御による蓄電デバイス材料の開発
森村 隆夫	熱電エネルギー変換材料の開発と構造解析
矢澤 孝哲	高機能材料の加工・計測
有川 康弘	遷移金属錯体による小分子の活性化
瓜田 幸幾	ナノ空間の特異現象解明
海野 英昭	タンパク質の構造機能解析
大貝 猛	電析法を利用した機能性金属材料の創製
鎌田 海	低次元セラミックスの生化学的応用
澤井 仁美	金属栄養素の生体内動態を制御する膜タンパク質の構造機能解析
白川 誠司	デザイン型有機分子触媒を用いた環境調和型有機合成反応の開発
浜崎 真一	電力系統連系のための電力変換器システムの制御と応用
Bun Chan	Application and development of computational quantum chemistry

※研究指導については、上表の教員に限らず、研究指導資格を有する他の教員も担当する。

令和7年度 長崎大学大学院総合生産科学研究科博士課程（5年一貫制）総合生産科学専攻  
 入学願書〔一般入試〕

	受験番号	※
長崎大学長 殿  貴大学大学院総合生産科学研究科博士課程（5年一貫制）総合生産科学専攻に入学したいので、 所定の書類及び検定料を添え出願します。  年 月 日 ふりがな 氏 名 _____  年 月 日生 男 ・ 女		
志望コース等	グリーンシステム科学コース	
指導を希望する教員		
出願資格 (該当番号を○で囲むこと)	(1) ・ (2) ・ (3) ・ (4) ・ (5) ・ (6) ・ (7) ・ (8) ・ (9) ・ (10) ・ (11)	
現住所	〒  TEL ( ) -	
出身大学・学部	年 月	大学 学部 卒業・卒業見込 高専 専攻科 退学予定(飛び入学)

記入上の注意

- ※欄は記入しないこと。
- 氏名は、戸籍又は在留カードのとおり記入すること。



令和7年度 長崎大学大学院総合生産科学研究科博士課程（5年一貫制）  
総合生産科学専攻入学試験

写 真 票 （一般入試）

受験番号	※
氏 名	
志望コース	グリーンシステム科学コース

写 真 (縦4cm×横3cm)
上半身無帽正面向き で3ヶ月以内に撮影 したもの 写真の裏に氏名を記 入すること

----- 切りはなさないこと -----

令和7年度 長崎大学大学院総合生産科学研究科博士課程（5年一貫制）  
総合生産科学専攻入学試験

受 験 票 （一般入試）

受験番号	※
氏 名	
志望コース	グリーンシステム科学コース

写 真 (縦4cm×横3cm)
上半身無帽正面向き で3ヶ月以内に撮影 したもの 写真の裏に氏名を記 入すること

----- 切りはなさないこと -----

令和7年度 長崎大学大学院総合生産科学研究科博士課程（5年一貫制）  
総合生産科学専攻入学試験 検定料納付証明書貼付票 （一般入試）

住 所	
氏 名	
志望コース	グリーンシステム科学コース
検定料納付証明書貼付欄	



----- 切りはなさないこと -----

受験上の注意事項

- (1) 試験前日の午後，工学部1号館ピロティに試験当日の集合場所を掲示するので，集合場所を確認すること。（ただし，入室はできない。）
- (2) 受験者は，本研究科から交付した受験票を試験当日必ず携帯すること。
- (3) 試験当日，所定の試験室（集合場所）は試験開始時刻30分前（12:30）に開錠する。志願者は，試験時刻15分前（12:45）までに入室すること。試験開始（13:00）後の遅刻者は受験を認めない。）
- (4) 携帯電話等は，試験室に入る前に電源を切っておくこと。
- (5) 気象状況などを考慮して十分にゆとりをもった日程で試験に臨むこと。試験当日に台風等の自然災害が発生した場合は，試験日を延期することがある。
- (6) 原則として追試験は実施しない。また，不測の事態が生じた場合，再試験を実施することがある。

----- 切りはなさないこと -----